

「川上村」と「大阪工業大学」は 連携・協力に向けた協定を締結



湯盛温泉ホテル杉の湯で行われた調印式

7月26日に、ホテル杉の湯にて、川上村と大阪工業大学（大阪府）との間で調印式が執り行われました。協定書には大谷村長と大西村議会議長、井上正崇学長（大阪工業大学）が署名を行い、協定が締結されました。

これは、「水源地のむらづくり」に取り組む本村と「環境共生のための教育・学術研究活動」をめざす大阪工業大学との間に実を結んだものです。

村や同大学の関係者、報道関係者などが見守るなか、調印式は執り行われました。

この協定により、同大学は旧東小学校校舎を寝泊まりできるセミナーハウスとしての改修などを実施します。このセミナーハウスは、本村における同大学の環境教育における活動拠点として、これまで以上に本村での活動を充実させていきます。また、将来的にはこの施設を一般の方も利用を可能とする予定です。

「水源地のむらづくり」に取り組む本村と「環境学」に取り組む同大学とは、互いにめざす方向性が合致しています。この両者の協力によって環境共生はもちろん、地域づくりや文化・芸術の振興、ひいては住民の生活の向上に役立つものと村としては大いに期待をしています。

また、産学協働等のさまざまな



調印式に臨み並べられた大阪工業大学旗と川上村旗

取り組みを行う同大学から、村は自治体としても多くの事柄を学んでいきたいと考えています。

◆協定の目的

本村の地域資源や自然環境を生かした地域社会の発展と人材育成、教育・学術研究機能の向上に役立てることを今回の協定の目的としています。

今後、本村と同大学が協力して相互の施設や人材などの資源を持ち合い、環境共生に取り組んでいきます。

◇連携・協定の内容

協定の目的を達成するため、次の事項について連携・協力を行います。

- (1) 環境共生のための教育・学術研究活動に関すること
- (2) 地域づくりに関すること
- (3) 人材育成に関すること
- (4) 文化・芸術などの振興に関すること
- (5) その他、本村と大学が必要と認める連携・協力に関すること

◇協定に至る経緯と当面の取り組み

本村と同大学との繋がりは、平成10年から展開している「川上村木匠塾」の活動に関西圏7大学の一員として同大学建築学科の学生が参加したことから始まりまし。そして、現在も木匠塾の活動を中心的に支えてもらっています。

また、平成18年度からは同大学工学部の新入生オリエンテーションが始まりました。毎年、ホテル杉の湯を宿泊場所として年間約300人の利用をいただいています。そして、村内各地（水源地の森や歴史の証人など）をフィールドに環境教育の実地研修に取り組み

ています。

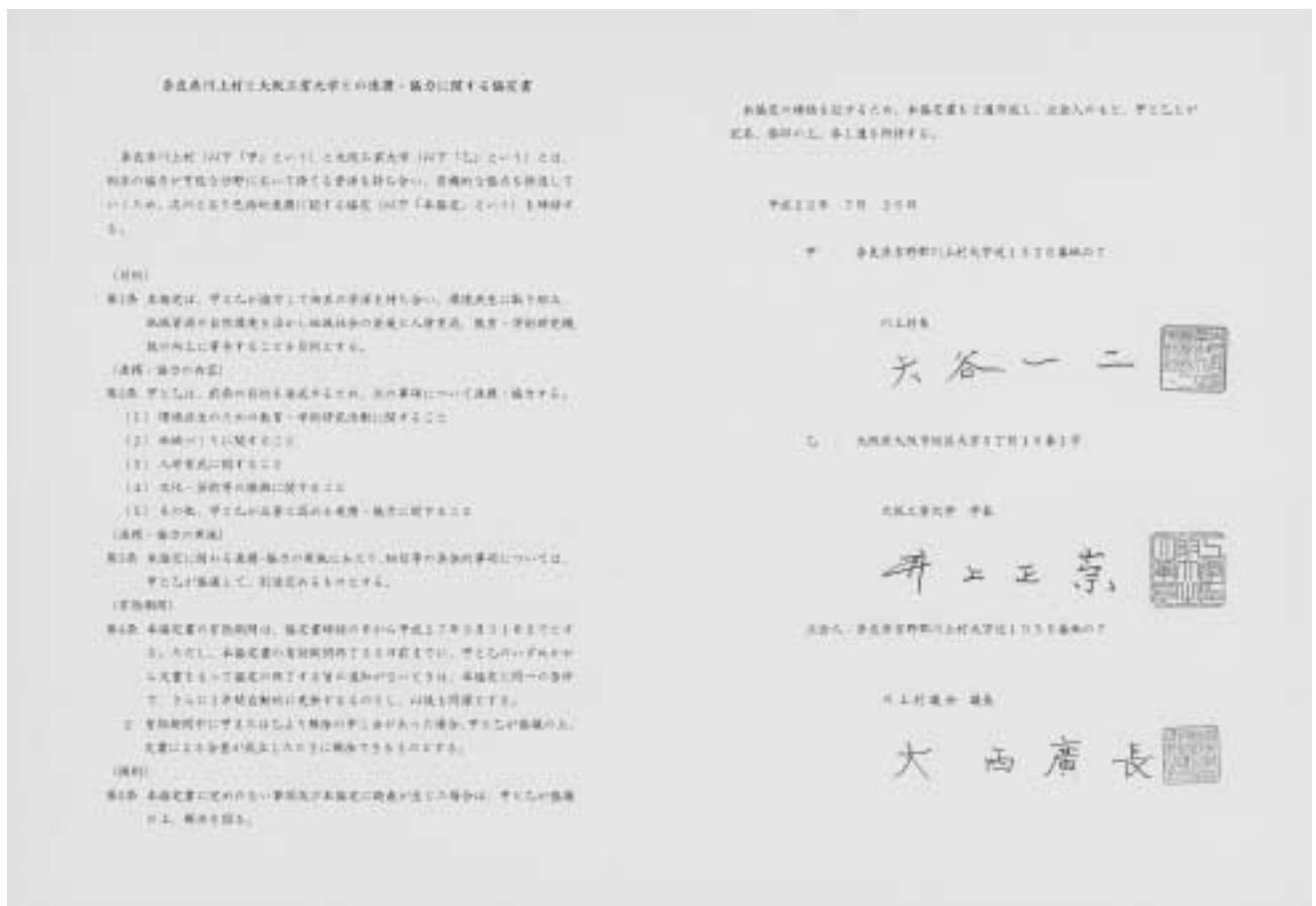
「水源地のむらづくり」に取り組む本村と同大学は課題を共有できることから、今日までも最大限のサポートを続けてきました。こうした事業を進展させ、当面の取り組みとして、協定書には次の3項目が盛り込まれています。

① 廃校となった「旧川上東小学校（北和田）」を改修し、学生たちが宿泊まりできるセミナーハウスに整備します。

② 環境循環型のエコハウスの建設
※化石燃料に頼らない環境循環型のエコハウスを建設。
※整備するに当たり、次の内容に配慮を行います。

川上産材を使用、木陰利用、自然採光、自然換気・通風、太陽熱・太陽光利用、風力利用、バイオマス利用、ごみのリサイクルなど。

③ 環境教育のための演習林の整備
※環境循環型のエコハウスの周辺を環境学習のための演習林として整備を行う。



締結された「奈良県川上村と大阪工業大学との連携・協力に関する協定書」